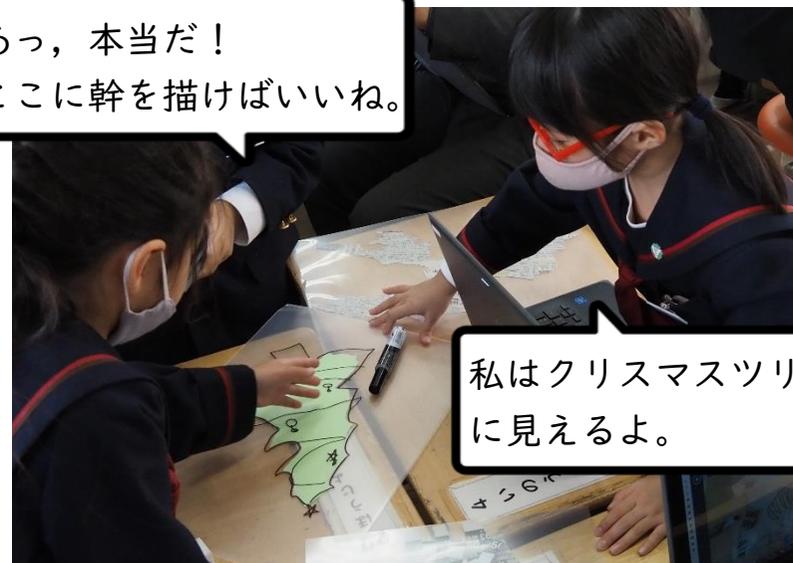


変身ペラさん旅に出る ～やぶいたかたちからうまれたよ～

学習指導者 毛利 二実子 もうり ふみこ

紙を破いて偶然できた形に親しみを込めて「ペラさん」と命名しました。本時ではその面白い形に着目し、クリアホルダーに挟んだペラさんを、向きを変える・描き足すなどの「変身の術」を使っていろいろなものに見立てました。何度も描いたり消したりしてペラさんを変身させる「お試しタイム」を通して想像を広げ、変身ができる度に一人一台PCで写真を記録していききました。そしてグループ内で互いの「ペラさん」を見せ合い、何に変身できるかみんなで考える「もっと変身タイム」でさらにイメージを広げました。粘り強く試行錯誤したり、友達と交流したりすることで、自分のイメージが広がった実感を得た子供たちは、さらにペラさんを連れて行きたい世界の想像を膨らませ、絵に表し、作品として旅に出しました。

あっ、本当だ！
ここに幹を描けばいいね。



私はクリスマスツリー
に見えるよ。

考察

- 何度も試すことができる教具を用いたり、写真で記録したりしたことで、試行錯誤してイメージを広げることができた。
- 形の「全体」を捉えるか、「部分」として捉えるかという視点があれば、もっと多様な見方ができたのではないか。
- グループ活動をペア活動にすることで発言者に偏り無く対話することができ、自分の作品を再考する時間をとれたのではないか。